

転出職員のあいさつ

変わっていくこと・変わらないこと

足田 敦士（新潟県教育庁義務教育課）

8年ぶりの附属特別支援学校は、コロナ禍の影響により、オンラインでの集会活動、各種行事等の中止や縮小、ICT端末を活用した授業など、大きく様変わりしていました。しかし、そのような学校生活の中でも、変わらないことがありました。それは、子供たちのピュアで美しい心、教職員の熱意、保護者や地域の方からの温かい励ましです。目まぐるしく変化する時代の中だからこそ、これからも附属特支の良さを継承する学校であってほしいと願っています。2年間お世話になりました。ありがとうございました。

6年間の感謝

大滝 西一郎（県立新発田竹俣特別支援学校いじみの分校）

附属特別支援学校での6年間、小学部と高等部でお世話になりました。子供たちのとびきりの笑顔、着実に成長していく姿を近くで見ることができ、たくさんの学びと充実した時間をいただくことができました。私の貴重な宝物です。附属での経験を生かし、次の学校でも精一杯頑張りたいと思います。附属特別支援学校、大好きです！ありがとうございました。

一つ一つの思い出が宝物

近藤 修平（県立教育センター）

あっという間の1年間でした。しかし、中身の濃い1年間でもありました。生徒の皆さんの素敵な笑顔と元気な挨拶から毎日エネルギーをもらい、一緒に様々な体験をさせていただき充実した日々を送ることができました。子供たちと過ごした一つ一つの思い出が宝物です。保護者の皆様からは様々な場面でご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

ありがとうございました

上原 吉雅（県立西蒲高等特別支援学校）

この3年間、とても楽しく充実した日々でした。高等部の皆さんとは、一緒に勉強や学校行事をしたこと、小学部、中学部の皆さんとはたくさん話をしたこと、皆さんと一緒に過ごした日々は、どれも私にとって大切な思い出です。お別れは寂しいですが、遠く離れても皆さんのことを応援しています。保護者の皆様からも、いつも温かくご支援いただき心から感謝しております。たくさんの思い出を胸に、新天地でも頑張ります。3年間ありがとうございました。

笑顔いっぱい、思い出いっぱい！

古川 雄基（新潟市立石山中学校）

皆さんのキラキラした笑顔や、何事にも一生懸命に取り組む姿に、たくさんの元気をもらうことができた3年間でした。大好きな皆さんと離れるのはとても寂しいですが、この学校で得た経験を生かし、様々なことに挑戦していきたいです。皆さんも、仲間を大切にし、挑戦する心を忘れず頑張ってください。いつまでも応援しています。本当にありがとうございました。

ずっと応援しています

大屋 圭子（退職）

毎日、給食を楽しみにしている笑顔が今も思い浮かびます。これからもたくさん給食を食べて、心も身体も大きく成長してください。これからもずっと応援しています。皆様、ありがとうございました。

思い出の日々は宝物

宮島 央奈（退職）

2年前の春、穏やかな校風の中でどんな日々が始まるのだろうとドキドキしていたことを思い出します。私は皆さんと会える給食の時間が楽しみでした。話す時間は少しでも、元気に迎えてくれましたね。そして、ひとつひとつの事に一生懸命取り組む姿がすてきだなと思っていました。目標や夢に向かう皆さんのことを離れていてもずっと応援しています。素直で頼もしい皆さんのことが大好きです。宝物となった2年間をありがとうございました。

いいことが起こる心の習慣

坂井 淳子（退職）

3年間お世話になりました。皆様との出会いと交流できたことに心より感謝致します。

大人は(保護者や教職員の方々)はいつも子どもの幸せを願っています。そして自分自身についても幸せでありたいと思っています。諸富祥彦氏が、幸せをつかむために必要なこと：1 ミッション(使命) 2 パッション(情熱) 3 コンパッション(慈悲心)と言われています。皆様、心身の健康をご自愛されながら益々のご活躍をお祈りしております。

充実した日々に感謝を

北見 和夫（退職）

長年、運転手として働いてきた私が附属に来て2年5か月、運転業務以外は初めての環境整備をさせていただきありがとうございました。なかなか思うように作業出来ませんでしたが、子供たちの明るい笑顔と優しい先生方に支えられ充実した日々を務める事が出来ました。皆様の心温かいご協力に感謝しております。本当にありがとうございました。

大変お世話になりました

菅原 聖哉（退職）

令和5年4月から1年間、再雇用職員として交付金や給食費の出納業務を担当させて頂きました。暖かい先生方、愛すべき子供たちと素敵な時間を過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。学ぶことが多い本当に素敵な職場でした。附属特別支援学校の益々のご発展とお子様の健やかな成長を心より祈念しております。ありがとうございました。

転入職員のあいさつ

出会いは人生を広げてくれる

校長 ひぐち たかし 樋口 尚 (県立駒林特別支援学校より)



一度ならず、二度、三度と出会う人とは、何か計り知れない「縁」があるのではないのでしょうか。そう思って、出会う人一人一人と接していくと、大変面白く、また、人生も奥深く、興味深いものになっていくと思っています。この度、三度目の附属特別支援学校勤務です。久しぶりに出会う人、初めて出会う人、それぞれの皆さんとの「ご縁」を大切にして教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

よろしくお祈いします

教諭 もりかわ さとる 森川 悟 (県立新発田竹俣特別支援学校いじみの分校より)



附属特別支援学校の子供たちに会えるのを楽しみにしていました。教室で、すなやまの家で、中庭で、時には学校の外でも、一緒に楽しく活動して、子供たちの「できた」「やった」の笑顔がたくさん見られるように支援していきます。たくさん食べてたくさん動いて、みんなと元気に過ごしていきたいです。よろしくお祈いいたします。

チームの一員として

教諭 とにし ゆうこ 戸石 祐子 (新潟市立西特別支援学校より)



満開の桜が新しい学校での勤務に花を添えてくれました。附属特別支援学校には、15年程前に1年間お世話になりました。今回2度目の勤務ということで、とても楽しみにしてきました。日々の教育活動はもちろん、運動会やすなやま祭などの行事を通し、子供たちの笑顔がたくさん輝くように、保護者・地域の皆様と学校がチーム一丸となり、取り組んでいけるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

日々の積み重ね

教諭 いけだ りょう 池田 陵 (県立村上特別支援学校より)



県立村上特別支援学校より参りました。子ども達の1日の成長をお米一粒で例えると、最初は小さいですが、積み重ねていくことでご飯のように大きくなります。日々の「積み重ね」を大切に、そして「充実した日々」を子ども達に届けていけるよう、共に笑い、共に学び、共に成長して参りたいと思います。着任したばかりで、まだまだ不慣れな面もございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

教師を目指すきっかけになったこの場所で！

教諭 かもがわ あや 加茂川 文 (糸魚川市立下早川小学校より)



学生時代に、物事にじっくり向き合う大切さやチームで子供をサポートできることの喜びなど、多くのことを附属特別支援学校から学びました。子どもたちが自分らしくかがやき、一歩前へ踏み出せるように、一緒に頑張ります。よろしくお願いいたします。